

1) 着目した豊かさの要素・要件

回答欄： 共感や承認などの他者の存在から感じる豊かさ 心のゆとりや時間の余裕から感じる豊かさ

2) 豊かさの要素・要件が生まれた背景や要因

回答欄： ・一人のときは食事は簡素で飲酒もしないが、家族や友人と一緒にのときは美味しいものを飲食したい
・家族で夜更かしをしてゲームをしているとき（子供のころ）
・家族で家でだらだらしているとき
・家族旅行、スポーツ（バレーボール、スノーボード）

→庶民的なレベルの時間的な余裕、金銭的な余裕がある
心のゆとりがあり、共感できる他者がいる
自分の居場所がある（物理的：我が家、精神的：家族、友人）

3) 着目する豊かさの要素・要件を阻害するコト・モノ

回答欄： ・自分あるいは他者の心のゆとり、時間のゆとり
→共感ができない

・コロナで集まれない（オンラインではやはり豊かさを感じにくい）
→居場所の喪失

1) 人間が長寿化することにより起こるであろう個人の変化

- 回答欄：
- ・世代間交流が増える、別世代文化の吸収
 - ・働く期間が長くなる、引退後の余剰時間も長くなる
 - ・技術力の向上が期待できる

2) 人生100年時代の個人の変化によって生まれるであろう新たな住まいと暮らし方

- 回答欄：
- ・家族構成が大きくなり、世帯間の交流が増える
 - ・手に職をつけ、家にいながら働く家（カフェ、工房などが付帯された家）が増える
 - ・趣味や娯楽の場が住まいの中にできる

3) 人生100年時代には、住まいと暮らし方のどのような側面・性質が重要となるか

- 回答欄：
- ・人とつながる時間も必然的に長くなるため、繋がりが重要となると思われる
 - ・世代ごとの要求に答えられる柔軟な住宅（人生の変化とともに変化する住まい）